

平成 26 年 9 月 8 日

## 9 月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産・搬出は、断続的な降雨等天候不順で影響大。入荷は時期的に少なく、ヒノキは平年を下回る状況。スギは順調な荷動き続くが、荷傷み材の引合い弱い。ヒノキは入荷減から柱、土台の引合い強く、中目材も順調な荷動き。価格は、製品市況が低調な中、全般に停滞感漂う。スギは柱材、中目材とも弱保合。ヒノキは入荷量少なく、柱材は強含み、中目材は強保合で推移。

群馬の製材工場の操業状況は平年並。原木市場の在庫少なく集荷しにくい状況。虫害は例年より遅く 8 月後半から増加。製品価格は、スギは一定のところまで止まっているが、ヒノキは荷動き悪く相場不安定。原木在庫は少なく虫害状況を見ながら集荷。原木消費は順調に推移。製品市場への出荷は少ないが、プレカット工場からの引合いが増加し一部品薄商品もある。製品在庫は秋需に向けスギは順調に回転し平年並みの状況。

### 2. 米材

米国産米マツ丸太は日本/中国の市況低迷で生産調整を継続。山火事入山規制で出材は低調。価格は出材調整で尺上材が品薄で急上昇。ウェアハウザー社の 9 月積み米マツ IS は、前月比較 \$ 30 上げの \$ 850 と推定。

米材原木の入・出荷、在庫ともに横這い。国内の米材製材工場は新設住宅着工の減少により、大手が定時操業。ILWU (米港湾労働者組合) と PMA (荷主協会) との労使交渉は、重要項目の医療費補助について合意。

米製材品の TLT (東京木材埠頭) 8 月の入荷量は 22.6 千 $m^3$ で前月比 40.5% の大幅減、出荷量は 31.6 千 $m^3$ で前月比 3.5% 減、在庫量は 59.3 千 $m^3$ で 13.2% 減。

直近のランダムレングス紙発表の 15 種平均価格は \$ 1 値下げ。SPF2×4 は横這い。6 月末から値上がり続くもここにきて調整局面に入る。価格は昨年同期比で \$ 30 以上高い。産地価格は DF KD STD J グレードが各アイテムで底値横這い続く。角 \$ 465-470/ $m^3$ 、垂木 \$ 480/ $m^3$  (CIF) での取引。現地各製材工場とも日本向け減産体制を継続中。先行き荷動きは鈍い。9 月決算を控え買方に慎重な姿勢。近年、郊外への直送の輸入品が多く、TLT の在庫推移だけでは全体が見えにくい状況。

### 3. 南洋材

サバの出材は細材中心で依然堅調だが、山元の天候が不安定なため今後の影響が懸念。インド、日本向け原木輸出は依然順調で、価格も高値横這い。サラワクはインド、台湾の買付が活発で、価格は引続き高値横這い。製材品も中東や近隣諸国向けが順調で、日本市場への興味薄く数量は伸びず。PNG ソロモンは天候不順で原木出材悪く、価格も中国買いが順調で高値横這い。南洋材丸太の入・出荷、在庫ともに横這。製材品の入荷も横這。原木の販売は合板用、製材用とも変化なし。製材品の販売は、無垢平割が品薄から引合い多く動きは堅調。棒類も現地生産が遅れ、品薄・円安も加わり全体的に強含み。

### 4. 北洋材

ロシア極東はアムール配船の冬切材が終了。カナダ材との価格差から日本向け合板用カラマツ丸太の配船は好調。中国沿岸部の原木在庫は多いが、内陸向けに順調に出荷された模様。シベリア地方は、アカマツ丸太の出材少なく、日本向け工場は減産続く。富山新港の8月丸太入荷量はエゾマツ 5.6 千 $m^3$ でアカマツ・カラマツは無し。原板入荷は3.9 千 $m^3$ 。在庫は2ヶ月。

価格動向は、丸太はアカマツ・エゾマツ・カラマツともに製品売れ行き悪く弱含み。製材品も国内挽きは弱含み。輸入製品は下げ止まり、新規オファーは上げ基調。荷動きは、丸太は変わらず、製材品は住宅資材受注減により低調。国内製材工場は丸太、原板とも不採算。稼動状況は採算合わず引続き生産調整。受注は特殊サイズでの生産、5月並に下降。

### 5. 合板

原料丸太のうち国産材は、針葉樹合板減産の中でスギを主体に強含み横這い。外材は、米材が引続き弱含み、ロシア材は横這いで南洋材は強気の状況が継続。ここにきて円安が進みコストアップの影響が懸念。7月の国内合板生産量 23.0 万 $m^3$ のうち針葉樹合板は 21.3 万 $m^3$ で、出荷量は 20.0 万 $m^3$ 。生産量は減少したが依然出荷量を上回り、在庫量はさらに増え 22.6 万 $m^3$ となった。販売価格は、8月盆明けに9月の値戻し価格を発表したが浸透せず、9月以降の更なる減産効果が出るまで時間が要るとの見方が強く、綱引き状態が続く見通し。

国産針葉樹合板はメーカーの減産はあるものの弱保合で推移。7月出荷量は 20 万 $m^3$ まで戻したが、需要に勢いがなく、大手メーカーは15%の更なる減産を表明。輸入合板も全体的におとなしい状況。コスト割れによる商社の値戻しはある程度浸透しているが、需要の盛り上がりがなく市場では警戒感が残る。先行き、針葉樹合板は今後暫く値戻しの綱引き状態が続く、輸入合板は今後の需

給バランス次第だが強めの価格展開が予想される。流通在庫は国内、輸入ともに全アイテムで潤沢。針葉樹合板 12mm で若干の荷余り感。

## 6. 構造用集成材

原料ラミナの入荷は順調。国産集成材の受注は8月盆前から増加し、9月も順調で一昨年の水準に戻る。販売・荷動きは順調。販売先行きは、10月までは大手ハウスメーカーの加工予定あり順調。10-11月は昨年比80%程度で推移すると予測。在庫は生産調整により減少傾向。輸入集成材は商社の売込み続く中で在庫多い。コスト高で内外価格差が少なく売りは低調。国内生産品は素材高の製品安で厳しい状況続く。新規集成材工場1社がJAS認定取得し、10月から生産開始。日本向けシュバイクホーファー社製品が1月入港予定。

## 7. 市売問屋

国産材の構造材は、スギ、ヒノキともまとまった動き少なく、小口主体で低迷感強い。造作材は引続きリフォーム需要が旺盛だが小口主体。スギ、ヒノキの建具材も動き弱い。外材の構造材は、全体的に相場の先安感が強く、手頃な価格にも拘らず、先行き需要が弱く荷動きは鈍い。造作材はスプルー、米ツガ等の平割も動き弱く一服感が強い。市場来場者は依然微増傾向にあるが、買方の手持ち仕事量が少なく、必要当用買いに徹している。秋需への期待は大きいが停滞感が強まり、実需は弱含みと予測。

## 8. 小売

国産材の構造材はスギ、ヒノキ土台・柱とも保合。外材はロシアアカマツ垂木弱保合、米ツガKD角、平割、SPFいずれも保合。造作材はスプルー良材保合、ナラ・タモ保合。集成材はWW、RW梁、柱とも保合。合板は針葉樹が一時の安値は解消し値戻し保合、ラワンも保合。床板・フロア材保合。プレカット工場は全般的に仕事量少い。工務店の大工不足は解消の兆しなく、自社での大工育成を目指す工務店もあるが、一部にとどまっている状況。

9月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	↘	→	↘
北洋材	丸太	↘	↘	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↘	→	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↘
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↗
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↗
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×4m	→
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オンタ)	米マツ カスケード (カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	→	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
東京・問屋店頭 渡し価格		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ (3.0×4.0×3.8m) 特等	→
			アカマツ (3.0×4.0×4m) 特等	↘
			カラマツ (10.5×10.5×4m) 特等	※
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	↘
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↘